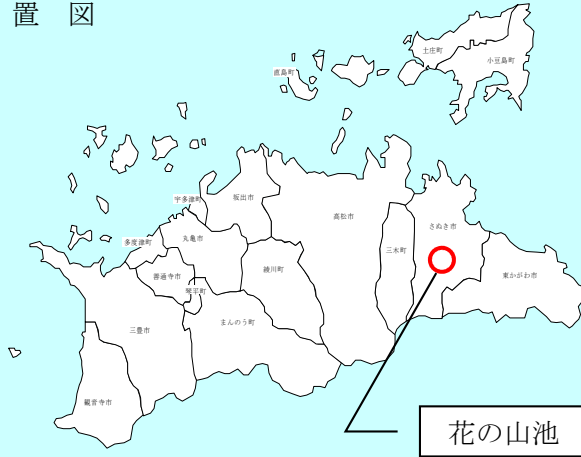


花の山池（はなのやまいけ）

位置図



諸元

貯水量	200	千m ³
満水面積	3	ha
受益面積	26	ha
堤高	21.5	m
堤長	75	m

花の山池は、堤長75m、堤高21.5m、貯水量20万トンのため池であり、現在、さぬき市南部旧寒川町の丘陵地の農地26haを潤しています。

かつて、この地域は丘陵地で畑作のみが行われていましたが、この地を水田にしようとの考えが古くからあり、機が熟し水田に転換することとなりました。そこで、地域の上流を流れる地蔵川の支流を締切ることにより、大正4年(1915年)に花の山池が完成しました。この工事では花の山池へ導水するために、池の西側の谷を流れる地蔵川に新しく堰を造り、池までの水路も併せて造りました。隣の谷を流れる地蔵川からの導水には途中の山を越える必要があり、100mもの水路トンネル(幅約1m、高さ約1.7m)を掘らなければなりませんでした。地域の人たちが人力でこの水路トンネルを完成させました。

その後、花の山池は大小数回の改修工事を経て現在の形となりましたが、現在でも人力で作った隧道は重要な導水路として使われており、先人の苦労を目のあたりにすることができます。



満水の花の山池（堤防）



水路トンネル出口